

# 友好的 M&A・企業提携の 法律と実務留意点

～各手法の長短と使い方、段階ごとの交渉ポイントほか提携解消の実際まで～

ふちべよしひこ  
講師 淵邊善彦 氏

T M I 総合法律事務所  
弁 護 士

日時 平成18年11月16日(木) 午後2時00分～午後5時00分

敵対的 M&A が最近世間の注目を集めているが、M&A の数の上では、日本における 99% 以上は友好的な M&A である。M&A を含む企業提携は、企業間でシナジー効果を期待して協力関係を樹立することであり、経営戦略の一手段としてその重要性が増している。

本セミナーでは、友好的 M&A を成功させるという観点から、M&A の各プロセスや契約交渉上のポイントについて解説する。また、これまであまり論じられていない M&A のクロージング後の経営統合プロセス、資本提携の一種である合弁事業(ジョイントベンチャー)及び企業提携の解消を巡る実務的な諸問題についても検討する。

## 1. 経営戦略としての友好的 M&A と企業提携

- (1) M&A、企業提携とは何か
- (2) 売り手の戦略
- (3) 買い手の戦略
- (4) 友好的 M&A と敵対的 M&A

## 2. M&A 手法の選択とスケジュールの立て方

- (1) 各手法の長短と選択のポイント
- (2) 各手法に応じたスケジュールの立て方

## 3. M&A のステップと交渉のポイント

- (1) 相手方の選定からクロージングまでの手続
- (2) 各段階の法律問題
- (3) M&A を成功に導くための買収監査

## 4. ポストマージャー

- (1) 経営統合プロセスの重要性
- (2) 経営統合でよく生じる法律問題

## 5. 合弁事業(ジョイントベンチャー)

- (1) 合弁事業とは何か
- (2) メリット・デメリット
- (3) 合弁契約の留意点

## 6. 企業提携の解消に伴う問題

- (1) 交渉途中での解消
- (2) 共同事業開始後の解消

～質疑応答～

【講師紹介】1987年東京大学法学部卒業。1989年弁護士登録。1995年ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン卒業(LL.M.)。ロンドン、シンガポールのノートン・ローズ法律事務所勤務。1998年日商岩井株式会社(現双日株式会社)法務部勤務。2000年TMI総合法律事務所にパートナーとして参画。取扱分野:M&A、国際取引、企業取引全般。主な著書・論文:「ポストマージャー～M&Aの統合プロセスについて～」マール2006年1月号・2月号、「ロイヤルティ監査の実務～支払を担保する契約実務と条項例」旬刊経理情報8月10日号2005年、「個人情報管理ハンドブック」(共著)商事法務2005年、「M&Aと環境リスク」マール2005年2月号、「合弁会社の設立・運営・解消(上)(下)」(共著)旬刊商事法務6月号2004年、「M&Aによる知的財産取得の実務」(共著)ビジネス法務11月号2003年

当社は、第二東京弁護士会継続研修団体として認定を受けております。  
このセミナーを受講すると、外部研修として3単位が認められます。

※ 録音・ビデオ撮影はご遠慮下さい。

■主催 経営調査研究会  
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-10-8-4F  
TEL 03-5651-2033 FAX 03-5695-8005  
E-mail kenkyu@mb.infoweb.ne.jp  
■後援 金融財務研究会